

人工知能研究開発ネットワーク 2024 年度事業計画・収支予算

1. 2024 年度の事業計画

任意団体化から 2 年目となる 2024 年度、人工知能研究開発ネットワーク（以下「AI Japan」という。）は、その更なる活動の活性化と認知度の向上を目指し、会則に則り、Web サイトを基盤とした情報発信、国内外の研究機関等との連携、広報活動、新規会員の入会促進などに取り組む。

AI Japan の 2024 年度の事業計画は、以下のとおり。

(1) 海外及び国内への総合的な情報発信（会則第 3 条第 1 号事業）

AI Japan の各種情報発信の基盤となる Web サイトにおいて、会員機関の AI 研究やイベント開催等に関する情報を日常的に掲載し、継続的に情報発信活動を行う。

AI Japan が主催、共催、後援、参加する各種イベントにおいて、AI Japan の宣伝用チラシを配布するなどして、AI Japan の取組を積極的に情報発信する。

(2) 海外の人工知能に係る研究機関等との意見交換・連携活動等の促進（会則第 3 条第 2 号事業）

AI Japan 及び AI Japan 会員との連携に関心を有する海外の研究機関等からの問い合わせに積極的に対応し、意見交換や交流、連携活動を促進する。

2022 年 10 月に「第 3 回日独仏 AI シンポジウム」を共催したドイツ科学・イノベーションフォーラム東京 (DWIH Tokyo) 及び在日フランス大使館と共同で、DWIH Tokyo を筆頭主催者として 2024 年 11 月に東京で AI に関する国際イベントを開催し、海外の研究者及び研究機関等との連携を強化する。

(3) 政府の人工知能に係る研究開発事業等の取組に係る情報提供（会則第 3 条第 3 号事業）

AI Japan 関係府省の研究開発事業の情報や、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) 及び国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) 等の国内の資金配分機関の各種研究開発課題の公募情報等について、会員への周知メールや Web サイト及びチラシへの掲載等を通じて、会員や一般向けに情報提供を行う。

(4) 人工知能に係る研究開発等の取組の情報・意見交換及び連携・調整（会則第 3 条第 4 号事業）

特定の技術テーマ等に関して情報・意見交換、連携活動等を行う取組であるワーキンググループへの参加を会員に呼びかけ、活動を活性化させる。

(5) その他（会則第 3 条第 5 号事業）

AI Japan の更なる知名度向上のため、AI に関する各種イベントへの後援を行う。

AI Japan の出展イベント等で積極的な広報活動を行うことにより、新規会員数の増加を目指す。

2. AI Japan の運営

2024 年度の AI Japan の運営メンバーは、以下のとおり。

会長：北野 宏明（AI ステアリングコミッティー座長）

副会長：辻井 潤一（産総研フェロー）

幹事会メンバー：会長、副会長、産総研、理研、NICT

2024 年度も総会、幹事会、事務局会議を定期的に行い、AI Japan の運営及び事業の実施に関して、審議・承認を行う。また、AI Japan の実効的な団体運営のために、事務局業務を引き続き外部委託する。

3. 収支予算

2024 年度の AI Japan 収支予算は、以下のとおり。

（1）運営費

人工知能研究開発ネットワーク事務局業務委託契約 4,620,000 円
（会則第 13 条第 1 項の規定により、運営費は中核会員が負担する。）

（2）事業経費

無し

（3）特別事業費

未定

会則第 13 条第 2 項の規定により、事業経費は中核会員及び利用会員からの会費をもって充てることとされているが、AI Japan 事務局において広く会員から会費を徴収して事業に充てる体制が整っておらず、また、現状で会費の徴収が必要な事業が予定されていないことから、2024 年度は会費の徴収は行わないこととする。

会則第 13 条第 3 項の規定により、特別事業費は中核会員並びに当該事業への参加を希望する利用会員及び特別会員から臨時費を徴収することとされている。2024 年度に予定されている特別事業としては、11 月に DWIH Tokyo を筆頭主催者として東京で開催する AI に関する国際イベントがあるが、現時点でかかる費用は未定である。本イベントについては参加の希望を会員に募り、費用発生が見込まれる場合には、当該参加会員間で負担額及び負担方法を協議することとする。

以上